



2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月8日

上場会社名 情報企画 上場取引所 東
コード番号 3712 URL <https://www.jyohokikaku.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中谷 利仁
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 緒方 一生 TEL 03-3511-8371
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の連結業績（2023年10月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	2,502	0.9	921	△2.5	940	△1.1	653	△0.2
2023年9月期第3四半期	2,479	—	944	—	951	—	655	—

(注) 包括利益 2024年9月期第3四半期 653百万円 (△0.2%) 2023年9月期第3四半期 655百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	216.10	—
2023年9月期第3四半期	195.64	—

(注) 2022年9月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2023年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	6,985	5,847	83.7
2023年9月期	6,723	5,496	81.8

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 5,847百万円 2023年9月期 5,496百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	45.00	—	50.00	95.00
2024年9月期	—	50.00	—	—	—
2024年9月期（予想）	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,700	4.9	1,450	2.6	1,450	3.7	980	1.6	323.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期3Q	4,090,000株	2023年9月期	4,090,000株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	1,065,057株	2023年9月期	1,065,044株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期3Q	3,024,947株	2023年9月期3Q	3,349,591株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2023年10月1日から2024年6月30日の9ヶ月間）におけるわが国経済については、日経平均や為替相場は激しい動きが見られ金融市場は不透明な状況が続いていますが、個人消費や設備投資は改善しており景気は緩やかに回復しています。当社グループの主要な販売先である金融機関の業況は好調で、当社グループの受注活動も順調に進んでおります。

業況につきましては、「システム事業」は「自己査定支援システム」が大手金融機関に採用され増収となったほか、「融資稟議支援システム」も信用金庫中心に増収となりました。システム開発に係る「システムインテグレーション部門」とシステムのメンテナンスを行う「システムサポート部門」からなる「システム事業」は前年同期比増収となり、営業利益は中長期的な観点からのシステムの研究開発や優秀な人材の育成に注力したため減益となりました。

「不動産賃貸事業」につきましては、2024年2月に新たに賃貸物件を購入し、賃貸収入の売上高と営業利益は増収増益となっています。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,502,986千円（前年同期比0.9%増）、営業利益は921,223千円（同2.5%減）、経常利益は940,376千円（同1.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は653,682千円（同0.2%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次の通りであります。

①システム事業

「システムインテグレーション部門」

「自己査定支援システム」は大手金融機関に採用され受注が増加しており、前期比増収となっています。「融資稟議支援システム」は信用金庫や信用組合宛てに根強く販売され増収となり、「総合決算書リーディングシステム」も地方銀行宛ての受注が増加しているほか、信用金庫向けに主にリニューアル案件が増加しています。

システムインテグレーション部門の売上高は1,355,509千円（前年同期比3.2%減）、セグメント内の売上高構成比は57.8%となりました。

「システムサポート部門」

メンテナンスの売上高は、システム導入が進み増収となり、システムサポート部門の売上高は990,101千円（前年同期比5.7%増）、セグメント内の売上高構成比42.2%となりました。

以上の結果、システム事業の売上高は2,345,611千円（前年同期比0.3%増）、セグメント利益は898,523千円（前年同期比5.2%減）となりました。

②不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、2024年2月に賃貸マンションを1棟購入し、賃貸マンション4棟、立体駐車場1棟、賃貸オフィス1棟及び賃貸店舗2件の計8物件を所有し展開しております。当第3四半期連結累計期間の売上高は、賃貸収入157,374千円（前年同期比10.4%増）、セグメント利益は22,700千円（前年同期はセグメント損失3,330千円）となっております。不動産賃貸事業は2023年1月から会社分割により株式会社アイピーサポートで行っております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、6,985,427千円となり、前連結会計年度末に比べ262,188千円増加いたしました。これは主に建物及び構築物（純額）が559,615千円、土地が159,779千円増加した一方で、売掛金及び契約資産が470,990千円減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,137,767千円となり、前連結会計年度末に比べ88,956千円減少いたしました。これは主に未払法人税等及び買掛金の減少によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、5,847,660千円となり、前連結会計年度末に比べ351,144千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものであります。

この結果、自己資本比率は83.7%（前連結会計年度末は81.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の景気につきましては、日本銀行が政策金利を引き上げ経済全般に及ぼす影響や金融市場の変動の懸念はありますが、安定した景気回復が見込まれると考えられます。DXが推進される中、金融機関のシステム投資意欲も十分にあり、システムのリニューアルに対する要望の増加が予想されます。そのため、研究開発によりユーザーのニーズに応じた製品を展開することで今後の受注獲得につなげたいと考えております。

2024年9月期におきましては、売上高3,700,000千円（前年同期比4.9%増）、営業利益1,450,000千円（同2.6%増）、経常利益1,450,000千円（同3.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益980,000千円（同1.6%増）と予想しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,655,633	2,639,091
売掛金及び契約資産	952,379	481,389
仕掛品	27,093	18,345
その他	19,380	21,339
流動資産合計	3,654,486	3,160,165
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	981,012	1,540,627
土地	1,665,888	1,825,668
その他(純額)	20,150	32,697
有形固定資産合計	2,667,051	3,398,994
無形固定資産		
のれん	71,830	62,851
顧客関連資産	12,206	11,189
その他	21,359	24,353
無形固定資産合計	105,396	98,394
投資その他の資産	296,304	327,873
固定資産合計	3,068,752	3,825,262
資産合計	6,723,238	6,985,427
負債の部		
流動負債		
買掛金	106,140	52,309
未払法人税等	184,194	106,325
賞与引当金	97,191	57,163
製品保証引当金	5,057	1,187
その他	689,907	777,699
流動負債合計	1,082,490	994,685
固定負債		
役員退職慰労引当金	58,096	57,222
その他	86,135	85,859
固定負債合計	144,232	143,081
負債合計	1,226,723	1,137,767
純資産の部		
株主資本		
資本金	326,625	326,625
資本剰余金	365,175	365,175
利益剰余金	6,400,935	6,752,122
自己株式	△1,596,219	△1,596,262
株主資本合計	5,496,515	5,847,660
純資産合計	5,496,515	5,847,660
負債純資産合計	6,723,238	6,985,427

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	2,479,991	2,502,986
売上原価	833,294	843,408
売上総利益	1,646,696	1,659,578
販売費及び一般管理費	702,000	738,354
営業利益	944,696	921,223
営業外収益		
受取利息	39	30
受取保険金	4,593	16,902
助成金収入	1,780	677
その他	478	1,542
営業外収益合計	6,891	19,153
営業外費用		
支払利息	291	—
その他	25	—
営業外費用合計	317	—
経常利益	951,271	940,376
税金等調整前四半期純利益	951,271	940,376
法人税、住民税及び事業税	202,747	280,682
法人税等調整額	93,214	6,011
法人税等合計	295,962	286,694
四半期純利益	655,308	653,682
親会社株主に帰属する四半期純利益	655,308	653,682

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	655,308	653,682
四半期包括利益	655,308	653,682
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	655,308	653,682
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額
	システム事業	不動産賃貸事業	計	
売上高				
システムインテグレーション売上	1,400,444	—	1,400,444	1,400,444
システムサポート売上	936,999	—	936,999	936,999
顧客との契約から生じる収益	2,337,444	—	2,337,444	2,337,444
その他の収益	—	142,547	142,547	142,547
外部顧客への売上高	2,337,444	142,547	2,479,991	2,479,991
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,337,444	142,547	2,479,991	2,479,991
セグメント利益又は損失(△)	948,027	△3,330	944,696	944,696

(注) 1. 各報告セグメントにおける利益は、営業利益を使用しております。

2. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

システム事業において、前連結会計年度に実施した株式会社ダנקの株式取得について、取得原価の配分が確定していなかったため、のれんの金額は暫定的に算出された金額でありましたが、第2四半期連結会計期間に取得原価の配分が完了し、暫定的な会計処理が確定しております。のれんの金額は、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額を開示しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額
	システム事業	不動産賃貸事業	計	
売上高				
システムインテグレーション売上	1,355,509	—	1,355,509	1,355,509
システムサポート売上	990,101	—	990,101	990,101
顧客との契約から生じる収益	2,345,611	—	2,345,611	2,345,611
その他の収益	—	157,374	157,374	157,374
外部顧客への売上高	2,345,611	157,374	2,502,986	2,502,986
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,345,611	157,374	2,502,986	2,502,986
セグメント利益	898,523	22,700	921,223	921,223

(注) 1. 各報告セグメントにおける利益は、営業利益を使用しております。

2. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれん及び顧客関連資産を除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれん償却額及び顧客関連資産償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	53,790千円	62,448千円
のれん償却額	8,978千円	8,978千円
顧客関連資産償却額	1,017千円	1,017千円